



法隆寺境内図

● 拝観時間
 2月22日～11月3日 午前8時～午後5時
 11月4日～2月21日 午前8時～午後4時30分

聖徳宗総本山 法隆寺

郵便番号 636-0115
 奈良県生駒郡斑鳩町法隆寺山内1番1号
 電話:(0745) 75-2555
<http://www.horyuji.or.jp>



日本最初の世界文化遺産
法隆寺

法隆寺畧縁起



西院伽藍全景

法隆寺は飛鳥時代の姿を現在に伝える世界最古の木造建築として広く知られています。その創建の由来は「金堂」の東の間に安置されている「薬師如来像」の光背銘や『法隆寺伽藍縁起并流記資財帳』(747)の縁起文によって知ることができます。

それによりますと、用明天皇が自らのご病気の平癒を祈って寺と仏像を造ることを誓願されましたが、その実現をみないままに崩御されたといえます。そこで推古天皇と聖徳太子が用明天皇のご遺願を継いで、推古15年(607)に寺とその本尊「薬師如来」を造られたのがこの法隆寺(斑鳩寺とも呼ばれています)であると伝えてあります。

現在、法隆寺は塔・金堂を中心とする西院伽藍と、夢殿を中心とした東院伽藍に分けられています。広さ約18万7千平方メートルの境内には、飛鳥時代を始めとする各時代の粋を集めた建築物が軒をつらね、たくさんの宝物類が伝来しています。国宝・重要文化財に指定されたものだけでも約190件、点数にして約3000点に及んでいます。

このように法隆寺は聖徳太子が建立された寺院として、1400年に及ぶかがやかしい伝統を今に誇り、とくに1993年12月には、ユネスコの世界文化遺産のリストに日本で初めて登録されるなど、世界的な仏教文化の宝庫として人々の注目を集めています。

①**南大門(室町時代)** 法隆寺の玄関にあたるこの門は、永享10年(1438)に再建されたものです。



金堂内部

②**中門及び廻廊(飛鳥時代)** 深く覆いかぶさった軒、その下の組物や勾欄、それを支えるエンタシスの柱、いずれも飛鳥建築の粋を集めたものです。重厚な扉と左右に立つ塑像の金剛力士像(奈良時代)は、東西にのびた廻廊の連子窓と対照的な組み合わせで、並列して建つ塔と金堂を壮麗に包み込んでいます。

③**金堂(飛鳥時代)** 法隆寺のご本尊を安置する聖なる殿堂が金堂です。威風堂々としたこの建物の中には、聖徳太子のために造られた金銅釈迦三尊像(飛鳥時代)、太子の父君用明天皇のために造られた金銅薬師如来座像(飛鳥時代)、母君穴穂部間人皇后のために造られた金銅阿彌陀如来座像(鎌倉時代)、それを守護するように、樟で造られたわが国最古の四天王像(白鳳時代)が、邪鬼の背に静かに立っています。そのほか木造吉祥天立像・毘沙門天立像(平安時代)が安置されています。

また天井には、天人と鳳凰が飛び交う西域色豊かな天蓋が吊され、周囲の壁面には、世界的に有名な壁画(昭和24年焼損、現在はパネルに画かれた再現壁画がはめ込まれています)が描かれ、創建当初の美しさが偲べれます。

④**五重塔(飛鳥時代)** 塔はストゥーパともいわれ、釈尊の遺骨を奉安するためのものであり、仏教寺院において最も重要な建物とされています。高さは約32.5メートル(基壇上より)で、わが国最古の五重塔として知られています。

この最下層の内陣には、奈良時代のはじめに造られた塑像群があり、東面は維摩居士と文殊菩薩が問答、北面は釈尊が入滅、西面は釈尊遺骨(舍利)の分割、南面は弥勒菩薩の説法などの場面が表現されています。

⑤**大講堂(平安時代)** このお堂は仏教の学問を研鑽したり、法要を行う施設として建立されましたが、鐘楼とともに延長3年(925)に落雷によって焼失しました。幸い正暦元年(990)には再建され、ご本尊の薬師三尊像及び四天王像もその時に作られています。

⑥**経蔵(奈良時代)** この建物は経典を納める施設として建立されましたが、現在は、天文や地理学を日本に伝えたという百済の僧、観勒僧正と伝える座像(平安時代)を安置しています。

⑦**鐘楼(平安時代)** この鐘楼の中に吊されている白鳳時代の梵鐘は、今なお当時の音色を響かせています。

⑧**上御堂(鎌倉時代)** このお堂は奈良時代、天武天皇の皇子である舎人親王の発願によって建立したと伝えていますが、現在の建物は鎌倉時代に再建されたものです。その堂内には平安時代の釈迦三尊像と室町時代の四天王像が安置されています。

⑨**西円堂(鎌倉時代)** 拝観コースからはずれた西院伽藍北西の小高い丘に八角造りの円堂があります。



聖霊院



夢違観音

⑩**聖霊院(鎌倉時代)** 東西の廻廊の外側には、それぞれ東室・西室という南北に細長い建物があります。それらは僧侶の住居でありましたから僧房と呼んでいます。とくに鎌倉時代に聖徳太子信仰の高揚ともなって、聖徳太子の尊像(平安末期)を安置するために、東室の南端部を改造したのがこの聖霊院です。

⑪**大宝蔵院** 聖霊院から東に進むと宝物庫である綱封蔵(平安時代)があります。その手前を北に進むと、食堂(奈良時代)や細殿(鎌倉時代)などの建物の奥に新しい伽藍が見えてきます。ここが平成10年に落成した百済観音堂を中心とする大宝蔵院です。建物の内部には、有名な夢違観音像(白鳳時代)・推古天皇御所持の仏殿と伝える玉虫厨子(飛鳥時代)・蓮池の上に座す金銅阿彌陀三尊像を本尊とする橘夫人厨子(白鳳時代)をはじめ百万塔・中国から伝えられた白檀造りの九面観音像・天人の描かれた金堂小壁画など、わが国を代表する宝物類を多数安置しています。飛鳥時代から近世に至るこれらの宝物は、1400年に及ぶ法隆寺の信仰の遺産であり、法隆寺の歩んだ道のりをうかがわせる貴重な宝物と言えます。

⑫**百済観音堂** 法隆寺に伝わる百済観音像(飛鳥時代)は、わが国の仏教美術を代表する仏像として世界的に有名であります。



玉中厨子

その創建は奈良時代に橘夫人の発願によって行基菩薩が建立したと伝えていますが、現在の建物は鎌倉時代に再建されたものです。そのお堂の中央には、わが国最大級の乾漆像として知られるご本尊薬師如来座像(奈良時代)が安置されています。

⑩**聖霊院(鎌倉時代)** 東西の廻廊の外側には、それぞれ東室・西室という南北に細長い建物があります。それらは僧侶の住居でありましたから僧房と呼んでいます。とくに鎌倉時代に聖徳太子信仰の高揚ともなって、聖徳太子の尊像(平安末期)を安置するために、東室の南端部を改造したのがこの聖霊院です。

⑪**大宝蔵院** 聖霊院から東に進むと宝物庫である綱封蔵(平安時代)があります。その手前を北に進むと、食堂(奈良時代)や細殿(鎌倉時代)などの建物の奥に新しい伽藍が見えてきます。ここが平成10年に落成した百済観音堂を中心とする大宝蔵院です。建物の内部には、有名な夢違観音像(白鳳時代)・推古天皇御所持の仏殿と伝える玉虫厨子(飛鳥時代)・蓮池の上に座す金銅阿彌陀三尊像を本尊とする橘夫人厨子(白鳳時代)をはじめ百万塔・中国から伝えられた白檀造りの九面観音像・天人の描かれた金堂小壁画など、わが国を代表する宝物類を多数安置しています。飛鳥時代から近世に至るこれらの宝物は、1400年に及ぶ法隆寺の信仰の遺産であり、法隆寺の歩んだ道のりをうかがわせる貴重な宝物と言えます。

⑫**百済観音堂** 法隆寺に伝わる百済観音像(飛鳥時代)は、わが国の仏教美術を代表する仏像として世界的に有名であります。



百済観音像

また日本の仏像には珍しい八頭身のす
らりとした姿と、優美で慈悲深いその
表情は多くの人びとを魅了しています。
法隆寺では、この百済観音の安住の殿
堂をお造りすることが永年の悲願であ
りました。その夢がついに平成10年秋
に実現いたしました。それがこの百済
観音堂であります。

⑬**東大門(奈良時代)** 大宝蔵院を出て夢
どの
殿へ向かう途中に建っているこの門
は、珍しい三棟造りという奈良時代を
代表する建物の一つです。

ゆめどの
⑭**夢殿(奈良時代)** 西暦601年に造営さ
れた斑鳩宮跡に、行信僧都という高僧が、
聖徳太子の遺徳を偲んで天平11年
(739)に建てた伽藍を上宮王院とい
はちかくえんどう
ます。その中心となる建物がこの夢殿です。八角円堂の中央の
すし
厨子には、聖徳太子等身の秘仏救世観音像(飛鳥時代)を安置
し、その周囲には聖観音菩薩像(平安時代)、聖徳太子の孝養像
しょうかんのんぼさつ
(鎌倉時代)、乾漆の行信僧都像(奈良時代)、平安時代に夢殿の
ぎょうしんそうず
修理をされた道詮律師の塑像(平安時代)なども安置していま
す。この夢殿は中門を改造した礼堂(鎌倉時代)と廻廊に囲ま
れ、まさに観音の化身と伝える聖徳太子を、供養するための殿
堂としてふさわしい神秘的な雰囲気漂わせています。

しゃりでん えでん
⑮**舍利殿・絵殿(鎌倉時代)** 舍利殿は聖徳太子が2才の春に、合
掌された掌中から出現したという舍利を安置する建物で、絵殿
には聖徳太子一代の事蹟を描いた障子絵が納められています。

でんぼうどう しょうむてんのう たちはなのこ
⑯**伝法堂(奈良時代)** このお堂は聖武天皇の夫人でありました橘古
なかつ
那可智の住宅を仏堂に改造したものです。堂内には三組の乾漆阿
みださんぞん
弥陀三尊像(奈良時代)をはじめ多数の仏像が安置されています。

どういんしょうろう ほかまごし
⑰**東院鐘楼(鎌倉時代)** この鐘楼は袴腰と呼ばれる形式の建物
で、内部には「中宮寺」と陰刻された奈良時代の梵鐘が吊されて



夢殿

主な年中行事

| | | |
|---------|-----------|-------------|
| 舍利講 | (於、東院舍利殿) | 1月1日～3日 |
| 金堂修正会 | | 1月7日～14日 |
| 上宮王院修正会 | (於、夢殿) | 1月16日～18日 |
| 西円堂修二会 | | 2月1日～3日 |
| 西円堂追儺式 | | 2月3日 |
| 三蔵会 | (於、三経院) | 2月5日 |
| 涅槃会 | (於、大講堂) | 2月15日 |
| お会式速夜法要 | (於、聖霊院) | 3月21日 |
| お会式 | (於、聖霊院) | 3月22日～24日 |
| 仏生会 | (於、食堂) | 4月8日 |
| 夏安居 | (於、西室) | 5月16日～8月15日 |
| 弁天会 | (於、弁天社) | 7月7日 |
| 東院地藏会 | (於、伝法堂) | 7月24日 |
| 盂蘭盆会 | (於、律学院) | 8月14日～15日 |
| 慈恩会 | (於、大講堂) | 11月13日 |
| 勝鬘会 | (於、大講堂) | 11月15日 |

夢殿本尊特別開扉 (春季 4月11日～5月18日)
(秋季 10月22日～11月22日)